

「コロナ禍における情報発信に関するアンケート」総括文

コロナ禍における情報発信に関するアンケートにご協力いただきましてありがとうございます。

皆さまからは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により生活環境や価値観が変化しているなか、コロナ禍における町の情報発信がどれだけ有益なものとなったのか、また、コロナ禍を通してこれまでの生活や意識の価値観がどのように変化したのかなど、さまざまなご意見をいただくことができました。

アンケート結果では、コロナ禍に町民が求めている情報や主に利用されている媒体について、「新型コロナウイルス感染症に関する情報」は、町ホームページが37.6%で、町広報誌が34.1%でした。また、「在宅生活のストレス軽減等を目的とした生活に関する情報」は、町広報誌が36.4%、町ホームページが31.8%でした。

また、「新型コロナウイルス感染症に関する情報」に関して重要視していることは「タイムリーに情報が得られること」が57.2%で、「コロナ禍における生活に関する情報」に関しても「タイムリーに情報が得られること」が49.1%とどちらにおいてもタイムリーな情報発信が求められていることがわかりました。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって現在困っていること（複数回答可）としては、「特になし」が31.8%、次いで、「運動不足」と回答した方が27.2%でした。

コロナ禍を通して生活に関する価値観の変化については、悪い変化があったと回答した方が65.9%であり、具体例としては、「外出の自粛によりストレスが増加した」、人と会わなくなったことから「友人との直接的なコミュニケーションがとりづらくなった」といった意見をいただきました。良い変化があったと回答した方は32.4%で、主に「家族との時間が増えた」という意見を多くいただきました。

コロナ禍を通じた意識に関する価値観の変化については、変化がないと回答した方が44.5%と多かったものの、次いで、良い変化があったと回答した方が42.8%であり、具体例としては、「人とのつながりは大切だと思った」、「コミュニケーションの大切さに気づいた」といった意見を多くいただきました。

自由意見では、生活の困りごとに関することをはじめ、全体的に正確な情報が得られていないことによる不安から、わかりやすくタイムリーな情報発信を

求めていることがわかりました。

今後の情報発信につきましては、調査で得られた結果を基に、町民が主に利用されている媒体やタイムリーな情報発信に効果的な媒体など、その時々で町民が必要としている情報に最適な媒体を見極めながら、迅速かつ正確に情報提供できるよう取り組んでまいります。

特に、これから始まる新型コロナウイルス感染症のワクチン接種につきましては、正確な情報が行き届いていない状況もあることから、皆さまが安心してワクチン接種を受けてもらえるよう、正確な情報を迅速に届けられるように努めてまいります。

今後も町一丸となって新型コロナウイルス感染症の収束に向けた対策を進めてまいりたいと考えておりますので、ご理解ご協力をいただきますようお願いいたします。